

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 1 1月号

2024.11

1. はじめに

立冬が過ぎ、まだ実感は湧きませんが暦の上では冬となりました。2年生の修学旅行も無事終了し、3年生は校内・校外模試が終了するなど、すべての学年で新しい段階（時期）に入ります。昨年度同様、感染症の状況の影響を受けることなく大学入試が行われ、学校生活も通常通りに送れる見込みではありますが、油断は禁物です。インフルエンザの予防接種など、用意周到に危機管理にご留意いただき、万全の体制でお子様をご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

2. 2025年度入試の動き

2025年度入試はご存じの通り、新課程の初年度に当たると共に、減少を続けてきた18歳人口が一旦増加に転じる特徴的な年となります。それに伴い、大学志願者の増加と近年の競争緩和の傾向の足踏みが予想されています。志願動向は、この数年理系人気が高く文系人気が低い「理高文低」の傾向から、文系人気が回復基調の「文理均衡」の傾向に近づきつつあります。特徴的なのは女子受験生の多様化です。以前の人文系や国際系の志望者が多い傾向から、最近では経済・経営・商学部系統の増加が目立ちます。理系では以前は女子が少なかった機械・航空系で増加傾向です。工学部の女子枠導入の動きも念頭に、幅広く情報収集する必要があります。

例年、秋から冬にかけて、模擬試験や共通テストの成績を見て、国立大から公立大・私立大に第1志望を変える受験生が一定数います。特に今年度は「情報Ⅰ」が共通テストに加わることで、その傾向に拍車がかかりそうです。逆を言えば、「情報」を含めた6教科8科目をしっかりと学習している受験生にとっては競争の緩和が予想され、チャンスが生まれると考えられます。

3. 来年度を見据えて（主に1, 2年生向け）

「志望理由書」が冬季休業中の宿題として1, 2年生全員に課されます。将来を見据えた進路について、ご家族で話し合っていただく良い機会として頂きたいと思います。入試制度も入学定員も年々変化し、情報化や少子高齢化に合わせた大学改革が急ピッチで行われています。大学案内やHPを熟読し、将来の生き方について、成績表も参考にしながらよく話し合ってください。保護者の皆様の時代に比べ、受験システムが大きく変化しております。驚きとともに募集要項等をご覧くださいと思います。

「外部英語検定」試験の資格が必要な大学も増えております。また、武者修行として顔も知らない受験生の間に入って初めての会場で受験する経験も、貴重な体験として本番に役立ちます。必要性をよくご検討の上、それぞれの最善の策をお考えください。

先日PTA学年部会の出欠や保護者アンケートがWeb化されるなど、**校内外で業務のDX化**が加速しています。9月号でお伝えしたとおり、共通テストは2026年度入試から出願がオンライン化されます。校外模試では来年度から、「解答解説冊子」や「個人成績表」で一部デジタル化される予定です。デジタル化は冊子の持ち運びが不要であるなど便利な面もありますが、学習においては「書く力」や「粘り強く考え抜く力」の衰えにつながります。デジタル、アナログ双方の利点を生かした学習計画を考え、実力アップにつなげるしたたかさも必要です。

4. 3年生のこの時期

共通テストまであと70日を切り、授業は共通テスト演習が中心となっています。思うように結果が出ず、焦っている生徒も出ていることと思いますが、**本校生はここからが正念場です**。部活動加入率の高い本校生は、スタートが他校生より幾分遅めです。その分、成績の伸びも少し遅

れてやってきます。そろそろ成果が現れ始める時期ですが、個人差も大きいので、各自の取り組み方や生活のリズムによって効果の現れ方が異なります。**同級生の成績に焦ったり、動揺したりせず**、自分のペースで自信を持って臨んで欲しいと思います。

そして何よりも大切なのが、家族の協力です。入試制度の改革が進み、大きく変化しているため、これまでの世代の入試とはひと味もふた味も違う受験が増えてきています。お子さんの判断だけでは難しい場面も多いと推測されます。

生徒達には毎月末の進路講話で、その月に応じた話題を提供することを心掛けています。何事も、「疑問点はそのままにしておかず、必ず確認するように」と伝えております。ご家族の皆様も遠慮なさらずに学校におたずねください。学校側も全力で支援してまいります。

5. 2年生のこの時期

11月に初めて5教科型模擬テストを受験しました。その結果が12月上旬には出てくるかと思えます。2年生にとっては、「いよいよ受験生になる」という心構えが求められる試験でした。

中学校の延長線上にあった、「少し頑張れば何とかなる」という考え方が当てはまらない、**厳しい世界だと初めて感じた**ことでしょう。目先の努力では太刀打ちできない、長距離競走であることが認識できたはずです。「文武両道」は、簡単ではありません。

これからは、**毎日の学習時間も5教科分**確保しながら、**次の日の予習復習**も行い、**部活動も**下級生を引っ張っていくという、至難の業が求められる期間が長く続きます。悩むことも多くなるでしょうが、やるべき事柄の優先順位を決め、たまには息抜きしながら、**長く続けられるコツを掴んでいって欲しい時期**でもあります。

保護者の皆様も、お子様の様子をよくご覧いただき、将来の方向性について、お話しいただければと思います。3年次のコース選択によっては、受験できる範囲も変わってきます。学習システムの選び方によっては準備の仕方も少しずつ変わってきます。納得のいく進路選択のためにも、十分に時間を取ってお話し合ってください。

6. 1年生のこの時期

高校生活に慣れ、部活動や定期試験にも慣れてきた頃かと思えます。いつ、どんな準備が必要なのかを理解できたと思います。生徒達には、R-P-D-C-Aサイクルについて学年主任から説明があったと思います。各自が目標を持って計画的に学習することを期待します。

全国の高校生との競争は、もう始まっています。大学見学やオープンキャンパスは、冬季や春季にも行われています。大学のホームページを調べたり、同じ学部を持つ他の大学を調べたり、大学に関する**情報を幅広く収集する時期**です。少ない知識で、知っている大学だけの情報を集めるのでは、選択の幅が広がりません。そして、大学の面接試験の時にも、しっかりとした答えが準備できません。**その大学に行く行かないにかかわらず、大学の特色を理解し、違いを確かめるためにも、多くの大学の情報を集めましょう**。

保護者の皆様の協力も不可欠です。ネット環境には、**様々なトラブルもつきもの**です。お子様の安全な利用について、ご指導をお願いします。また、3年次の大学出願の際には、ネット出願が一般的になってきており、**ご家庭でのネット環境とカラープリンタの準備**が不可欠です。1年次から早めにご準備いただけると、慣れることもできると思います。

7. 最後に

10月のPTA学年部会では、多くの保護者の皆様の出席をいただきまして、有り難うございました。保護者アンケートの結果を読ませていただいております。多くの生徒にとって、最もよい効果の出る方向性を常に検討しながら、本校生の輝かしい未来につながる指導を目指して参ります。生徒一人ひとりが少しでも夢の実現に近づけるよう、教職員一同で支えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

進路指導部